

活動紹介

■活動場所

市内一円。足見川周辺（山田町、小林町、西山町、桜地区）、塩浜地区、大矢知地区、四日市公害と環境未来館及び活動室

■活動内容

- 地球は今、温暖化による異常気象と水・空気・大地・緑の汚染がすすんでいる。「本会」は2年前に設立され、この間、塩浜街道の街路樹伐採問題に取り組み、足見川周辺の里山の森を伐採し太陽光発電（メガソーラー）を設置する計画の中止を求める活動をすすめている。
- 大規模な森の伐採は、生物の多様性と生態系を壊すものであり、市長、市議会、知事、県議会への要請を行っている。同時に各種の学習会を積み重ねている。
- 2017年12月7日、住民自治のあり方を学ぶために、長野県阿智村へ見学に行き、住民参加のありようを直に学ぶことができた。
- 2017年12月16日には、日本野鳥の会の方を案内ガイドに、足見川周辺の現地視察を30名以上の方の参加で行う。サンバが営巣する場所を示され、参加者から、「里山を伐採から守ろう」との声が大きく出る。
- 市民ミュージカル劇「四日市ラプソディーその海と空とー」の上演成功に貢献した。ミュージカルは2017年7月1日、2日の2日間3回公演で、千名以上の来場者で大成功した。「本会」のメンバーは実行委員やキャストとして積極的に参加した。
- 毎月、数か所で大気汚染（NOx）を測る活動をすすめている。
- 2017年度のエコパートナーの交流会、環境フェアに参加した。



代表者の環境や活動に関する思い

下記は設立趣意書に掲げた私たちの思いです。ぜひ仲間に加わっていただき、ともに学び、活動をすすめましょう。例会は毎月1回土曜日15時～じばさん2階・活動室。

- ①戦後、「水、空気、大地、緑」が公害によって失われ、温暖化による異常気象により、生物と人類の生存環境が悪化しています。再生可能社会を目指す。
- ②水、空気、大地、緑を守ることは、人類と生物が生存するうえで大きな問題です。
- ③「四日市公害と環境未来館」開館1周年を記念して本会を設立し、すべての市民の協同で、行政とのコラボを通して創造的で質の高い生活を求める運動を始めています。
- ④この趣旨にご賛同いただき、水、空気、大地、緑を守り、市民生活をよくする運動を共に大同団結して進めてゆきましょう！！